

看護補助者教育体制

当院では、看護師の業務負担軽減に向けて、看護補助者とのタスクシェア・タスクシフトに取り組んでいます。看護補助者業務に必要な知識や技術を習得するため、看護補助者との研修を毎月1回開催しています。また、看護補助者クリニカルラダーの活用や目標管理面接による人材育成を行い、看護補助者の質向上を目指しています。

【看護補助者研修】

- 目標 1.看護チームの一員として、看護師と協働・連携できる
2.看護補助者ラダーを活用し、看護補助者に必要な知識・技術を身に付ける

主な研修内容

医療情勢・病院方針・看護部目標
倫理、医療安全、感染、接遇、災害、褥瘡、認知症
看護師との協働・看護業務委譲について
各研修グループワーク実施

現場教育

個人目標シートの活用
年1回の技術チェック
学研ナーシング：eラーニング活用



研修風景（グループワーク）



食事介助（技術確認）



研修風景（技術の実践）



【看護補助者クリニカルラダー】

レベル	到達目標
I	<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者としての役割が理解出来る 看護補助者としての業務に必要な知識・技術を習得することが出来る
II	<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者業務について必要な知識・技術を習得し、行動出来る チームメンバーとしての意識を高め、主体的な行動がとれる
III	<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者業務について必要な知識・技術を習得し、リーダーとして実践・指導出来る

《チェック項目》

- ・基本姿勢
- ・看護補助者実践能力
- ・組織的役割遂行能力
- ・自己教育能力

